各 位

会 社 名 焼津水産化学工業株式会社 代表者名 代表取締役社長 坂井 和男 コード番号 2812(東証・名証第1部) 問合せ先 取締役総務・人事部長 萩原 諭 TEL 054 202-6030

業績予想の修正に関するお知らせ

本年 5 月 20 日の決算発表時に公表した平成 18 年 3 月期(平成 18 年 4 月 1 日~平成 18 年 3 月 31 日)の中間期及び通期業績予想を下記の通り修正いたしました。

記

1. 平成 17年9月中間期の業績予想数値の修正(平成 17年4月1日~平成 17年9月 30日)

(1)連結

(単位:百万円、%)

		項	į	目		売上高		経常利益	中間純利益
前	回	発	表	予	想(A)	8,000)	7 1 0	3 0
今	回	修	正	予	想(B)	7,906	,	6 4 6	7 1
増		減		額((B-A)	9 4		6 4	4 1
増		減 率(%)				1 . 2	2	9.0	136.7
前期	平.	成 16	年9月	月中間	間期)実績	7,487	'	7 2 4	4 2 4

(2)単体

(単位:百万円、%)

		項	Į	目		売上高	経常利益	中間純利益	
前	回	発	表	予	想(A)	7,900	7 0 0	2 5	
今	回	修	正	予	想(B)	7,835	6 4 1	6 5	
増		減		額	(B-A)	6 5	5 9	4 0	
増		減 率(%)			率(%)	0.8	8 . 4	160.0	
前期(平成16年9月中間期)実績						7,449	7 1 4	4 1 8	

2. 平成 18 年 3 月期通期業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

(1)連結

(単位:百万円、%)

		頂	į	目		売上高		経常利益	当期純利益
前	回	発	表	予	想(A)	16,30	0 (1,570	5 4 0
今	回	修	正	予	想(B)	18,42	2 0	1,570	5 4 0
増		減		額	(B-A)	2,12	2 0	0	0
増	減 率(%)				率(%)	13.	0	0.0	0.0
前其	期(平	ヹ成 1	7年	3月	期) 実績	15,20) 4	1,529	9 1 7

(2) 単体

(単位:百万円、%)

		項	į	目		売上高		経常利益	当期純利益
前	回	発	表	予	想(A)	16,1	5 0	1,550	5 3 0
今	回	修	正	予	想(B)	16,1	5 0	1,550	5 3 0
増		減		額	(B-A)		0	0	0
増		j	戓		率(%)	0	. 0	0.0	0.0
前其	阴(平	☑成 1	7年	3月	期)実績	15,0	8 3	1,521	9 0 9

3. 修正の理由

当中間期の業績につきましては、売上高は連結・単体ともに前年同期比増収となるも、当初予想を若干下回る見通しとなりました。

また、収益につきましては、売上構成の変化、原材料の上昇、燃料費高騰等により製造経費が増加したこと、及び静岡本部開設等により一般管理費が増加し、経常利益は連結で 64 百万円 (9.0%減) 単体で 59 百万円 (8.4%減) 当初予想よりも下回る見込みであります。

当期(中間)純利益は、当社所有賃貸ビルの減損処理(633百万円)などがありましたが、減損幅が計画より圧縮されたため、連結で41百万円(136.7%増)単体で40百万円(160.0%増)上回る見込みとなりましたので、当中間期の業績予想を上方修正いたします。

下期におきましては、厳しい収益環境の中、売上構成の変化に対応した営業体制の見直し、新製品の開発、製造コストや経費の一層の削減により当初の通期業績予想を確保する方針であります。

なお、連結通期では上期に設立した子会社マルミフーズ(㈱を合算計上するため売上高は大幅に増加し、18,420百万円(13.0%増)となる見込みとなり、業績予想を上方修正いたします。